

La Matsubara

～ラ・まつばら～

2017 まつばらブランド認定事業



協力

松原ブランド研究会顧問

澤井 宏文(松原市長)
吉村 盛善(松原商工会議所 会頭)
井上 博(阪南大学学長)
北田 敦史(一般社団法人松原青年会議所 理事長)
来村 多加史(阪南大学 国際観光学部 教授)
山口 晴子(食の研究者・野菜ソムリエ上級プロ)

阪南大学

流通学部 教授
平山 弘(松原ブランド研究会世話人代表)
大村 邦年(松原ブランド研究会世話人・事務局長)
神澤 正典(松原ブランド研究会世話人・前代表)

経済学部 教授

三木 隆弘(松原ブランド研究会世話人)

流通学部 准教授

早乙女 誉(松原ブランド研究会世話人)
白谷 健一(松原ブランド研究会世話人)
黒部 一道(松原ブランド研究会世話人)
新谷 雅美(松原ブランド研究会監事、公認会計士)

学長室社会連携課 課長

鶴谷 昌也(前・松原ブランド研究会事務局)

学生部キャリア支援課

全 隼太(前・松原ブランド研究会事務局)

松原市

市民協働部人権交流室 室長
吉岡 秀雄(前・松原ブランド研究会世話人)

市民生活部産業振興 課長

津村 直輝(松原ブランド研究会世話人)

市長公室企画政策 課長

田中 照成(松原ブランド研究会世話人)

市民生活部産業振興課

田頭 謙治(元・松原ブランド研究会世話人)

松原商工会議所

専務理事
上村 満(松原ブランド研究会世話人)

事務局長

平井 義彦(松原ブランド研究会世話人)

中野 光彬(松原ブランド研究会世話人)

一般社団法人松原青年会議所

元専務理事
仲田 幸祐(元・松原ブランド研究会世話人)

専務理事

市岡 大輔(松原ブランド研究会世話人)

株式会社エム企画 代表取締役

岸田 充三郎(松原ブランド研究会世話人)

有限会社ツムラ本店 代表取締役社長

津村 佳彦(松原ブランド研究会世話人)

岡田特許事務所

所長 弁理士
岡田 全啓(前・松原ブランド研究会顧問)

宮地 康彦

福山市

経済環境局文化観光振興部ふくやま魅力発信課

課長 小林 大二

課長補佐 藤井 信行

主事 松岡 基司

大阪府立生野高等学校

写真部

※敬称略。順不同。
所属・役職は平成29年4月1日現在のもの。

事務局

阪南大学

流通学部 准教授
西口 真也(松原ブランド研究会世話人)

学長室社会連携課 担当課長

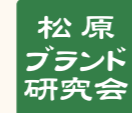
田中 一郎(松原ブランド研究会事務局)

発行・問合せ

発行日

平成29年(2017)6月13日

発行者



〒545-6023

大阪市阿倍野区阿倍野筋1丁目1-43 あべのハルカス23階

阪南大学学長室社会連携課内 松原ブランド研究会

まつばらブランド認定事業委員会事務局

TEL : 06-6654-5570 FAX : 06-6654-5580

E-mail : renkei@office.hannan-u.ac.jp



松原ブランド研究会Webサイト
「まつばらブランド認定事業」に
ついては、こちらから！



Facebookでも情報発信中！

La Matsubara

～ラ・まつばら～

「まつばらブランド認定事業」とは



「まつばらブランド認定事業」は、松原市内の事業者の優れた商品や技術・ビジネスモデルを認定し、その商品価値や企業価値を全国にPRします。そこからネットワークを広げていくことで地域産業のより一層の発展と、松原市のCITYイメージの向上を図ります。

認定の基準

- 1 松原市で生産され、地域特性が明確で活かされていること。
- 2 松原市を全国にアピールする可能性があること。
- 3 独自性・独創性があり、事業の広がりや新たな需要を喚起できるもの。
- 4 生産者・製造者のこだわりがあり、品質が確かであること。
- 5 その他(販売実績があり、今後も常に販売できる状況にあることなど)。

認定対象の事業者

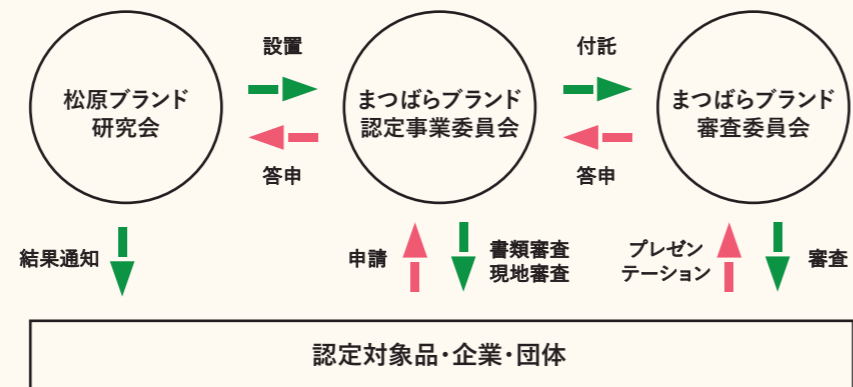
松原市内の個人事業主を含む事業者(企業および 国および地方公共団体などの所轄機関が認めた団体(組合・NPO法人など))

認定の対象品・企業・団体

松原市内で製造・開発・生産・加工された、優れた「商品」(商品・製品・特産品・サービスを含む)および企業・団体の持つ「技術」「ビジネスモデル」。

認定方法

認定基準による評価を行い、まつばらブランド認定事業委員会の審議を以て、決定する。



認定された商品・企業・団体には

認定された商品・企業・団体にはまつばらブランド認定マーク「La Matsubara」が付与され、販路拡大のためのPR支援などの事業を産官学一体で展開し、全国へアピールします。



第1期 まつばらブランド審査委員会委員



委員長 岡田 全啓 氏

岡田特許事務所
所長・弁理士

副委員長 領家 誠 氏

大阪府健康医療部
健康医療総務課 課長

西田 孝司 氏

松原市文化財保護
審議会 委員

菱垣 理英 氏

12a(トゥエルブアルファ)
デザイナー
元弁護士・元タレント

松岡 理絵 氏

地域密着型タウン情報
ポータルサイト
「らくうる。」副編集長



第1期 まつばらブランド認定事業委員会委員

- | | |
|-------|--------------------------------|
| 山口 晴子 | 野菜ソムリエ上級プロ |
| 津村 直輝 | 松原市市民生活部 産業振興課 課長 |
| 平井 義彦 | 松原商工会議所 事務局長 |
| 中野 光彬 | 松原商工会議所 |
| 市岡 大輔 | 松原青年会議所 専務理事 |
| 大村 邦年 | 阪南大学流通学部 教授 |
| 平山 弘 | 阪南大学流通学部 教授 兼
大学院企業情報研究科 教授 |
| 岸田充三郎 | 一般市民代表・株式会社エム企画 代表取締役 |

松原ブランド研究会とは



松原市を含めた南河内は、素晴らしい文化遺産や自然・食材や産業の宝庫でありながら、まだまだ認知度が低いのが現状です。

例えば、真珠を造る“元”となる「真珠核」。日本で生産されている真珠核の3分の1は松原市で生産されています。その他にも、知名度のある「松原の合鴨」や「印材」「金網」「まったく愛っ娘～松原育ち～」 「南河内のワイン」など誇れるものは数多くあります。

松原ブランド研究会は、松原市および南河内における地域ブランドの創設・育成・発展に資するため、現在の地域名産品が直面している課題について、産官学(松原市・松原商工会議所・一般社団法人松原青年会議所・阪南大学)に加え、広く一般の市民の皆様にも参加を呼び掛けることで、そうした課題解決へと向けた施策を練り上げるとともにビジネスとして成立するモデルを構築していきます。

また、地元の生産物を生かした地産地消の観点から新たなブランドを創造することで、この地域のまち起こしの起爆剤ともなるような人が集い・語らう場として、ビジネスの立場からのブランド価値の創造も行っていきます。

こうした過程でさまざまな意見を収集し相互に交流するとともに、地域ブランド創設へ向けた実態調査や研究・報告を行いながら、具体的には松原ブランドという地域ブランドを立ち上げることで地域の活性化に貢献することが第一義的な目標であり、続く段階としては点から線へ、線から面へとブランドを質量ともに複層構造化していくことで松原市の名前および南河内の地域を全国区にすることを最終的な到達目標としています。

La Matsubara

第1期 まつばらブランド認定品・企業・団体

- 【部門】 商品・サービス 企業・団体
- 【分野】 農業 商業 工業
- 【分類】 製造 加工 生産 料理店
- 【項目】 商品 サービス 技術 ビジネスモデル

上記の分野や項目などに分けられたのち、書類審査・現地審査・本審査を経て、認定された商品・企業・団体です。まつばらブランド審査委員会が実施する本審査では、機能性・便宜性・独自性・市場性・地域性の5つの認定基準が設けられ、各委員の評価点数を総合計し、その総得点が70%以上を超えたものを認定しています。

第1期の「La Matsubara」認定品・企業・団体は以下です。

※掲載は、申請順です。

認定証・盾例



1 まったら愛っ娘 ~松原育ち~

- 認定内容 農産物
- 団体名 大阪エコ農産物
まったく愛っ娘推進協議会

大阪エコ農産物の認証を受けた、松原市オリジナル農産物です。「より安全・安心で美味しいものを食卓に届けたい」という生産者の想いを込め、環境や身体に優しい野菜作りにこだわっています。「まったく」は、河内地方の古くから使われている方言で「松原」がなまったものです。松原市内の生産者が「愛っ娘」を育てるようにと愛情を込めて育てた農産物です。

- 代表者 上田 悦男
- 住所 〒580-0045
松原市三宅西5丁目903番地
JA大阪中河内 松原営農センター内
- 連絡先 072-331-1881
- WEB <http://www.manakko.jp>



2 難波ネギ

- 認定内容 農産物
- 団体名 稲田ファーム

難波ネギは、古代日本に大陸から伝わった日本最古のネギで、九条ネギを始めとする日本中のネギの祖先とされています。稲田ファームでは、約50年前より生産を開始し、世代を経て松原市三宅地区の農場で連続と育て続けています。一般的な青ネギと比べ、柔らかくとても美味しいのですが、栽培するには熟練の技術を要します。現在、大阪府内でも生産者は数名となっています。

- 代表者 稲田 元正
- 住所 〒580-0045
松原市三宅西5丁目903番地
JA大阪中河内 松原営農センター内
- 連絡先 072-331-1881



3 創作揚げ工房 さ・ん・ぽ

- 認定内容 創作料理・揚げ加工・
独自オイルロースト
- 団体名 創作揚げ工房 さ・ん・ぽ

松原を代表する食のブランド「ツムラ本店」の河内鴨に揚げ加工を施した独自のオイルローストや、ブランドネギ「難波ネギ」とのコラボ鍋など、長きにわたり地元産の食材にこだわった創作料理を提供しています。「まつばらバーガー」「まつばらスイーツ++」の開発など、市のイベントなどにも積極的に参加。日々更新されるブログのフォロワーも最近では2,500を超えることもあり、メディアにも取り上げられることも増えています。松原市の魅力発信の重要な担い手です。

- 代表者 後中 正雄
- 住所 〒580-0032
松原市天美東8丁目4番2号
- 連絡先 072-333-1338
- WEB <https://ameblo.jp/fumiko728>



4 まんまーる

認定内容 地元の良いものに情報を付加・調理技術・アレンジ力
団体名 まんまーる

「安全に飼育された沖縄原産のあぐー豚を松原市民に食べてもらいたい」と創業。創業当時から「自らの子どもにも胸を張って提供できる食材を使う」という理念のもと、大阪府が推奨する「大阪産(もん)」や松原産の米や野菜を使用し、季節に合わせ旬の食材を提供しています。顧客と松原産食材の生産者を結ぶ役目を大きく担っています。

代表者 吉村 信寿夫
住所 〒580-0033
松原市天美南3丁目14番11号
大和川マンション1階110号
連絡先 072-337-2332
WEB <http://manmauru.com>



5 河内鴨

認定内容 国産合鴨肉の生産から販売までの一貫したビジネスモデル
団体名 有限会社ツムラ本店

明治3年の創業。合鴨づくり一筋で取り組んできた長い歴史と伝統に加え、孵化から飼育を経て、処理・加工、卸・小売りまでのいわゆる地場畜産のSPA型ビジネスモデルを展開しています。質・量ともに期待できる英国産のチェリパレー種と呼ばれる鴨を使用。「新鮮・安全・めっちゃうまい」をコンセプトに、飼育日数も通常の1.5倍の日数をかけ、飼育場も平飼いで大型扇風機を利用し、飼料も自然のものを扱い自らの舌で厳選したものを扱っています。

代表者 津村 佳彦
住所 〒580-0005
松原市別所8丁目10番24号
連絡先 072-334-1111



6 高機能ソックス

認定内容 靴下製造業の新製品開発に関わる競争優位のビジネスモデル
団体名 コーマ株式会社

松原市内の自社工場で、類例ないソックス製品の企画から染色、製造、出荷まで内製化された一貫工程の生産システムです。自社ブランド開発と国内有名ブランドとタイアップしたOEM/ODM生産の2つのビジネスモデルを確立しています。1922年の創業以来「開発に生きる」という基本理念を経営基盤とし、高機能ソックス「3D SOX」を開発、販売しています。

代表者 吉村 盛善
住所 〒580-0043
松原市阿保3丁目6番27号
連絡先 072-332-1567
WEB <http://www.cooma.co.jp/index.html>



7 廣川昆布

認定内容 直火釜炊き製法によるMade in 松原の佃煮一貫製造
団体名 株式会社 廣川

創業当時から変わらず大釜を用いて直火で昆布を炊く伝統的な手法を受け継ぎ、旨味を逃さず保存性に優れた佃煮を製造しています。農林水産大臣賞など数々の賞を受賞し、松原市内のみならず、百貨店や自社専門ネットショップなどで販売中です。松原市内の自社工場にて、調理・加工・梱包まで一貫して行なっています。

代表者 廣川 雅英
住所 〒580-0034
松原市天美西3丁目3番49号
連絡先 072-331-2404
WEB <http://www.e-hirokawa.co.jp>

